

育児情報誌白石区版「まぎーずたっち」を発行



「まぎーずたっち (mother's touch)」とは日本語で「いたいのいたいのとんでいけ」という意味。母親への癒やしの気持ちなどを込めて名付けられました



イラストや地図がふんだんに使われ、耳寄りな情報など内容は盛りだくさん

子育て中のお母さんたち  
十五人が編集委員に

「身近な遊び場は」、「相談する場所は」といった子育て中のお母さんたちの疑問にすぐ答えてくれる育児情報誌がこの春に完成しました。

この情報誌の編集委員を務めたのは区内の子育てサークルのお母さんたち十五人で、障害などのある子どもとその親のサークル「元気の会」のお母さんも加わりました。

昨年の十一月から手分けをして、区内の公園や公共施設、レストランなどに出向き、情報を収集。図面片手にメモやスケッチをしたり、インタビュウを行ったりと、その姿はプロの取材者も顔負け。

定期的に関催された編集会議では、区役所の職員も加わって情報の整理作業を行いました。こうして出来上がったのが「まぎーずたっち」です。

お母さんたちの目と足で  
集めた情報がいっぱい

この情報誌はA5判八十九

▶公園では、足場や手すりの高さ、子どもをすぐ見つけることができる見通しの良さなどを細かくチェックしていました



ページでカラー版。予防接種や保育園、子育てサロンなどの紹介から、子どもと気軽に歩くことができるレストラン情報に至るまで内容は盛りだくさん。特に、一時保育やホームヘルプ、福祉サービスなど障害のある子どもに関する情報も充実しているのが特徴です。また、区内の子育てサークルの情報や絵本ガイドといった耳寄り情報のほか、「白石区のおすすめ公園」では、区内の二十力所の公園がイラスト入りで細かく紹介され、遊具の特徴や楽しい遊び方、親に気をつけてほしい点までが付記されています。



定期的に関かれた編集会議では、各編集委員が持ち寄った情報を交換し合いながら、情報の整理作業を行いました



レストランなどの施設では乳母車も実際に使って調査が進められました